

貴陽石混合のショートパンツ 3名(9動画)
2021/02/01

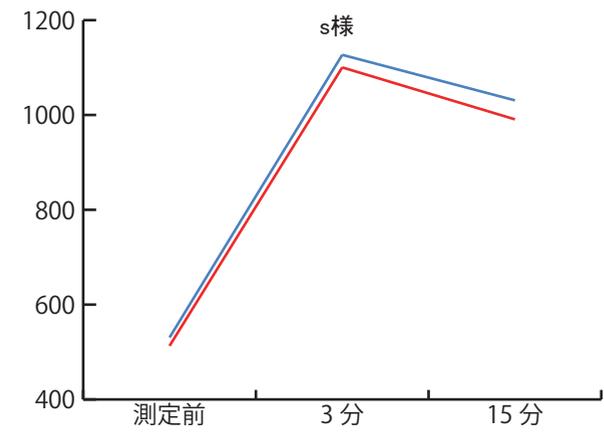
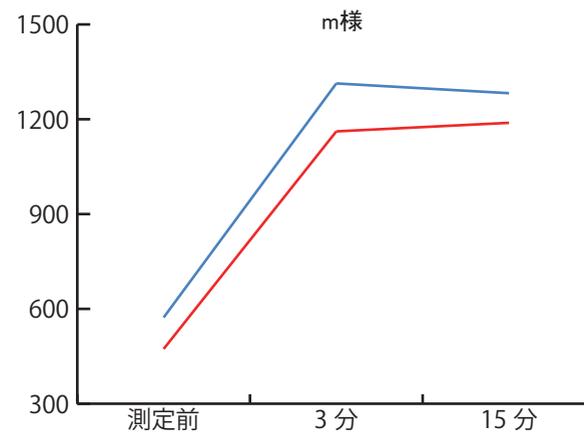
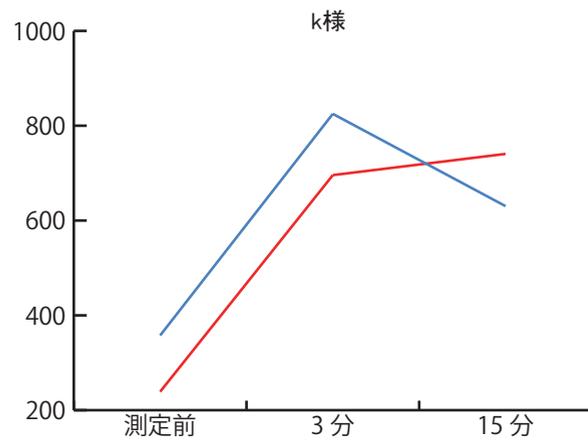
解析実施機関：NPO法人 毛細血管・研究会
(Japanese capillary research conference: JCRC)

被験者

No	被験者	備考
1	k様	50代男性、前→3分後→15分後
2	m様	50代女性、前→3分後→15分後
3	s様	20代女性、前→3分後→15分後

貴陽石混合のショートパンツ 血流速データ($\mu\text{m/s}$)

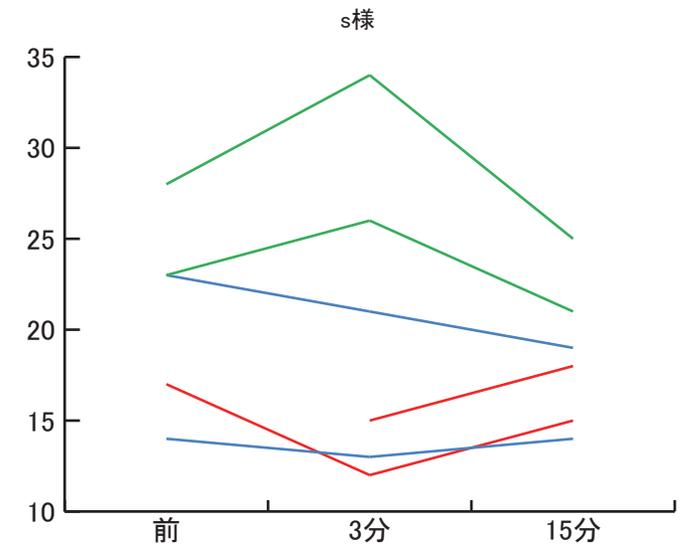
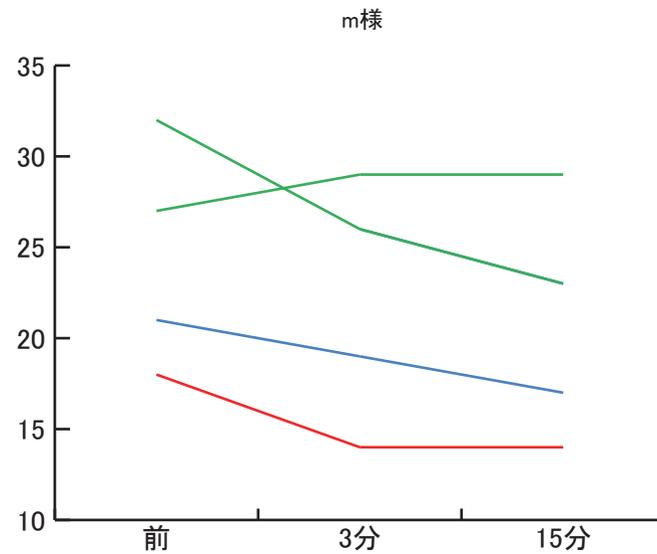
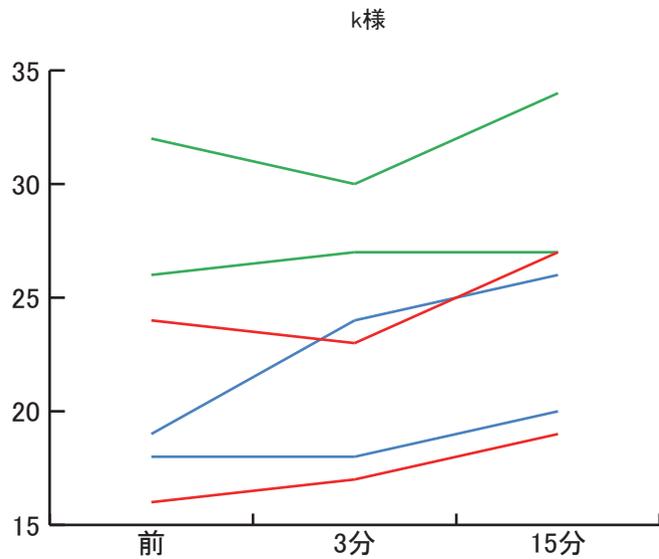
被験者	計測位置	流速 [$\mu\text{m/s}$]	
		1	2
k様	前	357.66	239.04
	3分	825.00	695.80
	15分	630.42	740.53
m様	前	572.86	473.32
	3分	1313.28	1161.59
	15分	1282.39	1188.67
s様	前	513.04	530.68
	3分	1100.34	1126.82
	15分	990.79	1030.87



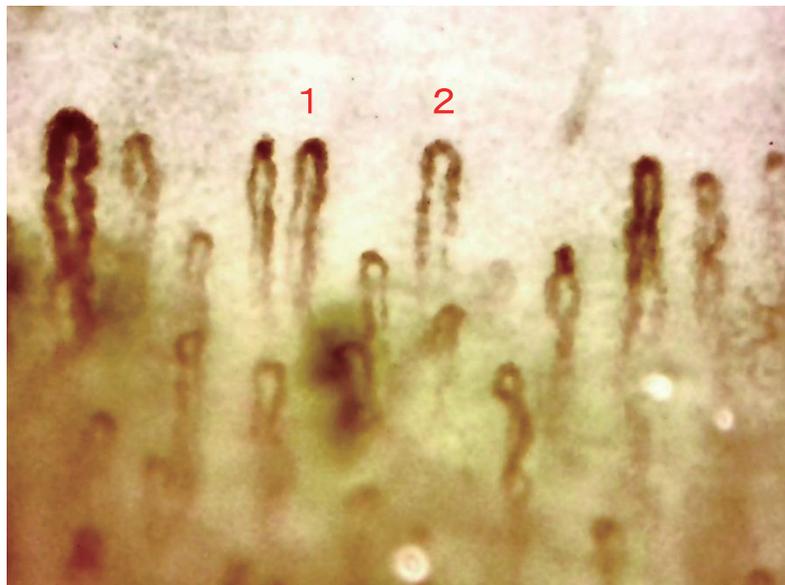
貴陽石混合のショートパンツ 血流径データ(μm)

被験者	計測位置	血管太さ[μm] 1			血管太さ[μm] 2		
		動脈	中央	静脈	動脈	中央	静脈
k様	前	16	32	18	24	26	19
	3分	17	30	18	23	27	24
	15分	19	34	20	27	27	26
m様	前	18	27	21	14	32	26
	3分	14	29	19	-	26	26
	15分	14	29	17	13	23	23
s様	前	-	28	14	17	23	23
	3分	15	34	13	12	26	21
	15分	18	25	14	15	21	19

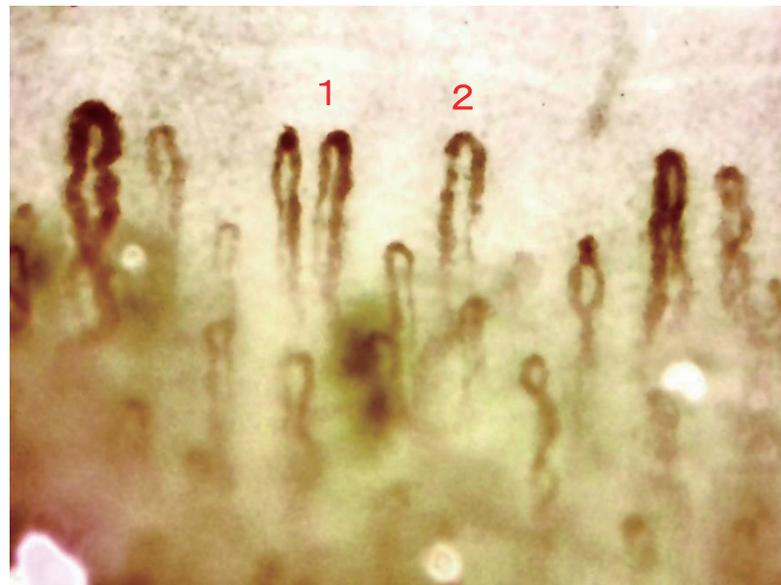
*「-」は画像不鮮明



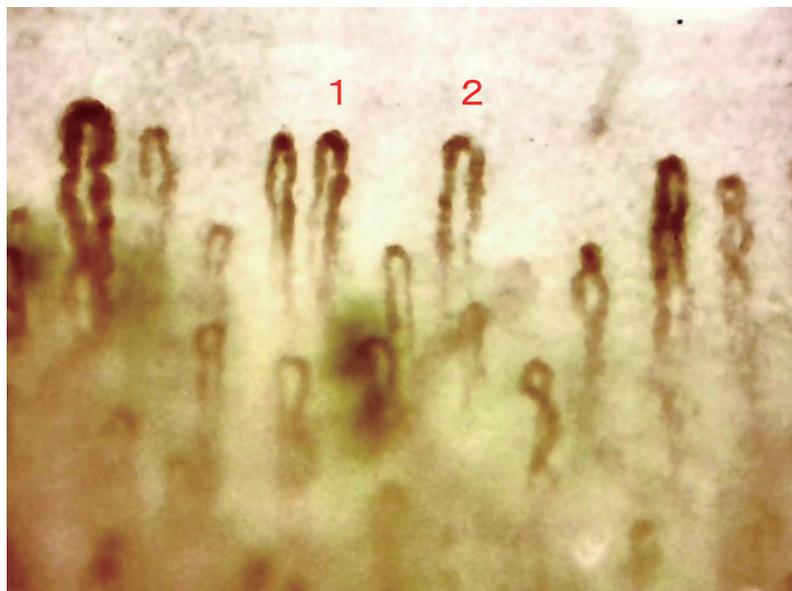
k様(ショートパンツ)



前

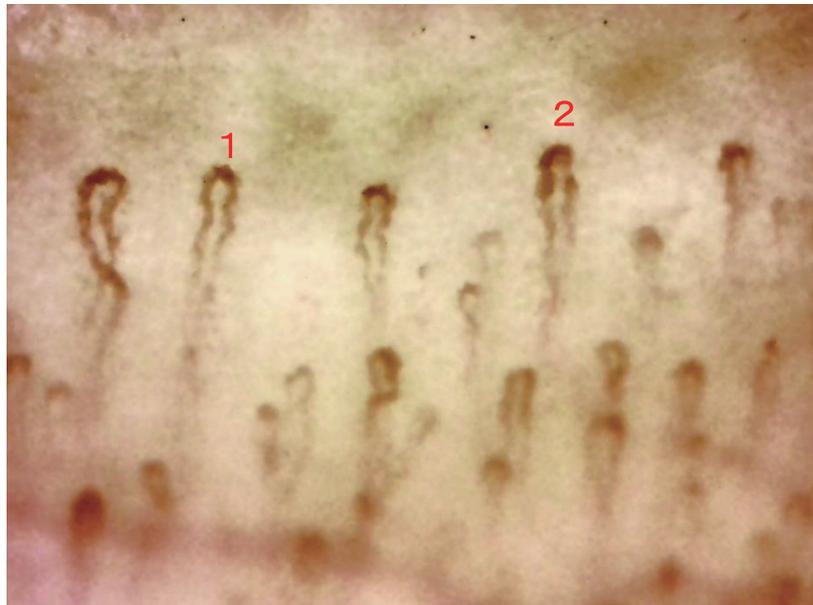


3分後

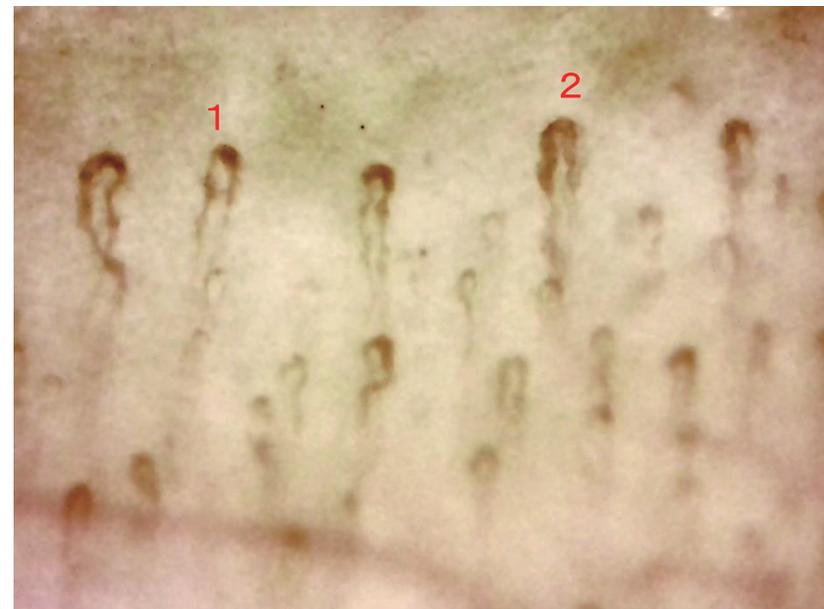


15分後

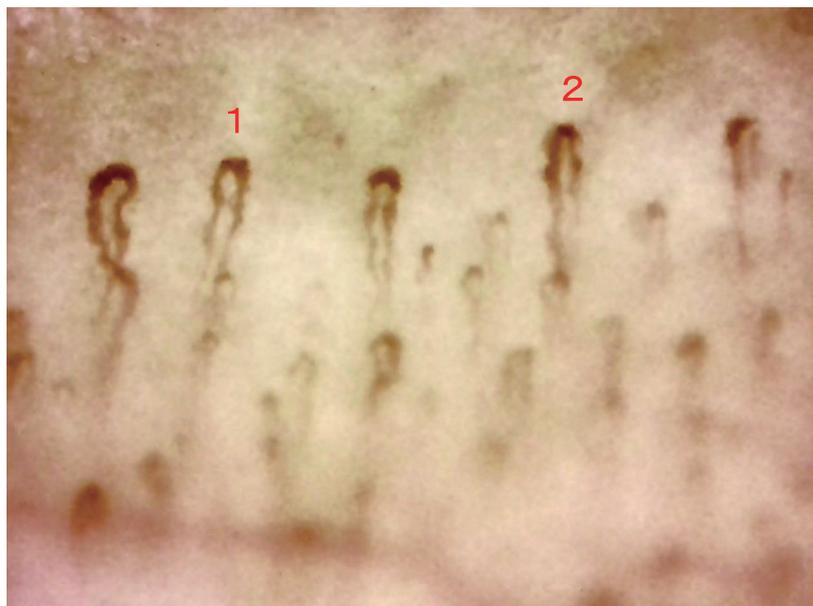
m様(ショートパンツ)



前

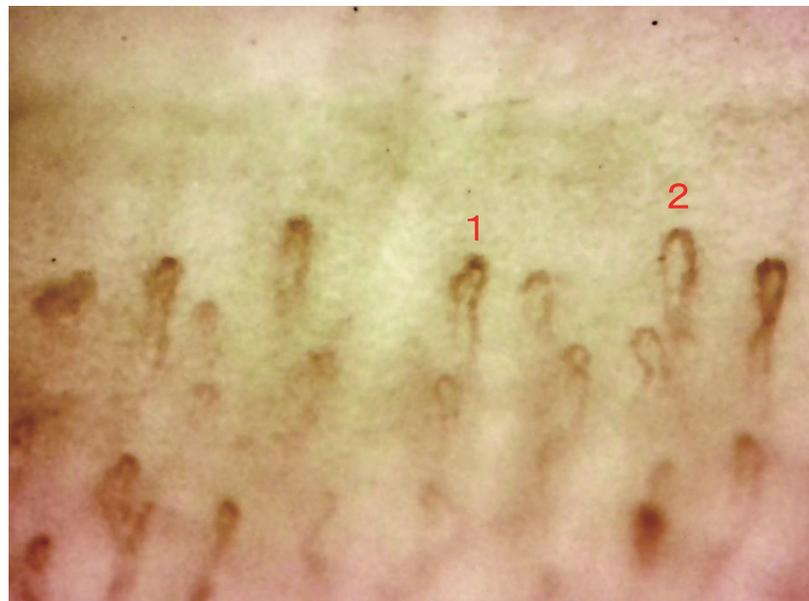


3分後

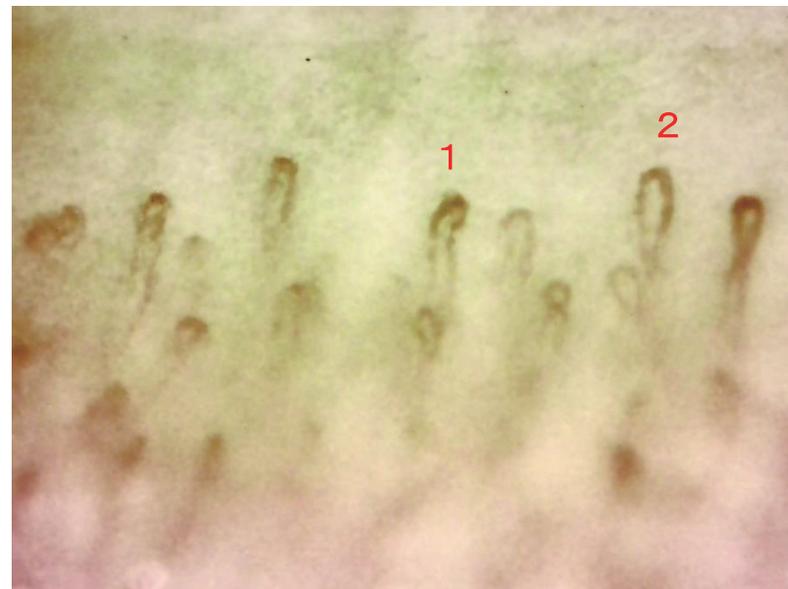


15分後

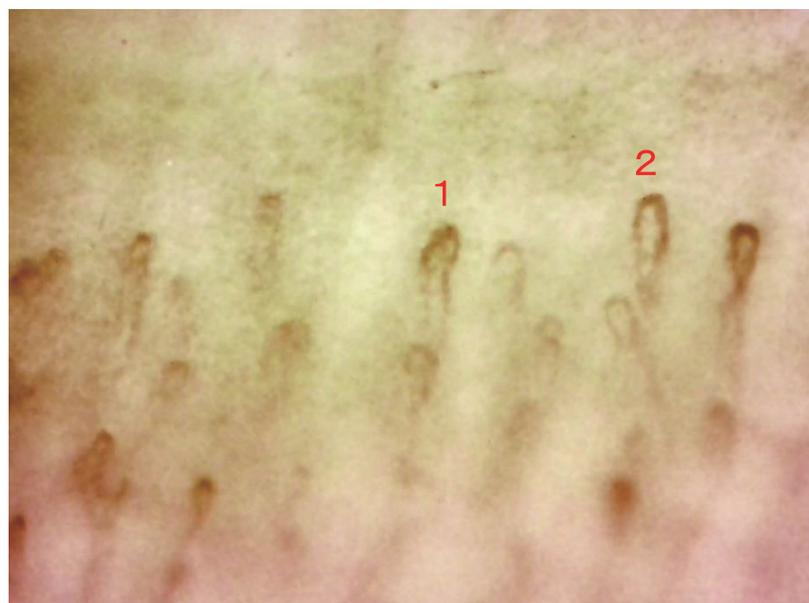
s様(ショートパンツ)



前



3分後



15分後

解析結果コメント

k様

m様

s様

[測定値結果]

前の流速が若干流速のある血管である。3分の時点で両血管ともに2倍以上の流速上昇が見られ、15分後には一方の血管はやや流速が低下、他方の血管は若干流速が上昇している。

前の流速はやや遅い程度。3分の時点で2.5-3倍程度に流速が上昇し、15分では一方の血管は流速がやや低下、他方の血管はわずかに流速が上昇した程度。流速上昇効果は3分の時点でプラトー(流速上昇効果が最大)になったと判断される。血管径は一方の動脈側は前から3分で細くなり、静脈側も徐々に細くなっている。他方の血管は中央、静脈が細くなる傾向を示す。

元々の流速は中等度であり、3分後には2倍程度の流速になっており、15分では3分よりやや流速が低下するが前に比べれば2倍弱程度の流速である。血管径は2つの血管は何れも3分で中央ループの拡大があり、15分で前と同程度に戻っている。動脈側・静脈側は3分でやや細くなる傾向を示す。

[動画解析結果]

前の血管は比較的まっすぐの血管であるがごく軽い蛇行と先端部・静脈を中心に拡張傾向があり、全体に流速は遅い血管が多いが一部にやや速い血管がある。止まりそうな血管は動画の最後に少し見られる。3分後の動画の最初は流速上昇が弱い数病後から急速に流速上昇が見られ、血管径が整っている。15分後は3分後よりやや流速が落ちた様に見えるが全体として流速の均一性が拳がり、血管径が揃って流速が安定している様に見える。うっ血傾向は乏しい。

前の血管はやや数が少なめで先端部がやや太い傾向が目立ち、軽い蛇行と交叉があり、深部側は細く透見性の低い血管。3分後は流速が顕著に上昇し、血管が非常に細く、透見性が低い傾向が目立つ。15分後の血管も同様の傾向を示す。血管径の均一化はやや弱いが3分後よりやや均一に見える。

前の血管はまっすぐで、血管の太さが比較的揃っている。一部交叉と先端部付近の径の拡大が見られ、先端部から深部にかけて透見性の低下がある。流速は遅く止まりそうな血管があるが中等度の速さの血管もある。3分後は流速が急激に上昇し、血管径が均一化した印象を与える。流速は全体が速い。15分後の流速は非常に速いが3分後よりやや遅く、白血球あるいは血栓が見えやすくなっている。

[総合判断]

3分後、15分後ともに流速上昇効果が著しいが3分時点で効果は最大に近い。

3分後15分後の流速上昇は明瞭であるが3分の時点でかなりの流速・流量上昇が見られ、15分後の上昇は明瞭ではない。

3分後の流速上昇は明瞭であり、15分には流速上昇効果はわずかながら減少している。